

天空にプール

眼下に高層ビル群を見降ろし、まるで天空の中を泳いでいるように見えた。マリーナベイサンズは3棟からなる斬新なデザインのホテル（2560 部屋）と、地上 200mの空中庭園はトロピカルな楽園のようであった。

この舟型をした「サンズ・スカイパーク」は水平方向に 340m。建物本体よりも 67m突き出ている。その広さはサッカーコート3面以上あり 3,900 人が収容可能とのこと。そして全長 146 mのインフィニティ・プール（視覚効果を取り入れて水面が永遠に続くように感じさせる）があり、屋上プールとしては世界最長である。もっともこのプールを利用できるのはホテル宿泊者に限られている。



20 ドルのチケットを購入して 56 階まで高速エレベーターで一気に上がると、そこは別世界の空中庭園が広がっていた。胸の高さまで透明ガラスのような柵が施され、それより上はワイヤーが転落防止のために張られてあった。初めはとても透明ガラスの柵まで近寄れず、恐る恐る柵まで行くと足元は遥か下の地面までストレートで見えてしまう。飛び落ちてしまいそうな錯覚になる。スリル満点だ。しかし目が慣れてくると周りの景色を見る余裕が出てきた。それは素晴らしいロケーションであった。360 度の展望は南シナ海からセントーサ島をはじめ、シンガポールを一望できる。

2010年7月開業して以来1年少々が経つ。今この建物のユニークな設計とゴージャスさには、世界中のメディアが挙って注目し紹介をしている。

撮影 2011 年夏

